

# 礼拝プログラム

2019年11月10日

司会:町田兄 奏楽:ボウト姉 通訳:石塚兄

賛美: Song of Praise

使徒信条: \* Apostle's Creed

アナウンスメント: Announcements

牧会祈祷: Pastoral Prayer

献金: Offering

メッセージ: Sermon

こうして教会は(19): 賛美の力

"Then the Church (19): The Power of Praise"

賛美: Song of Response

頌栄: Doxology

祝祷: \* Benediction

\*印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のままです。礼拝メッセージは英語に訳されます。必要な機器を会堂入口にてお求めください。

\*Please stand, if able.

\*English translation of the service is provided, from the announcements until the end of the service.

Please pick up a translation device by the entrance of the sanctuary.

アッシャー: マーシャル姉、ウィットワース姉

グリーター: クレイマー姉、スタンクリフ姉

ナーサリー: 石井姉、カーター姉 (読): 大野姉

チルドレンチャーチ: テリケス姉、奏姉

セキュリティ: 町田兄

## 来週、17日の礼拝

司会: 大野兄 奏楽: 石塚姉 通訳: 石塚兄姉

メッセージ: 「こうして教会は(20): なぜサンディエゴに暮らしているのか?」

アッシャー: 川久姉、クレイマー姉

グリーター: プロクター姉、クレイマー姉

ナーサリー: ストーン姉、メティア姉 (読): 畠山姉

チルドレンチャーチ: テリケス姉、石塚姉、仰兄

礼拝前掃除: ボウト兄 セキュリティ: 畠山兄

## おしらせ

本日の礼拝後の予定

コーヒーアワー、バイブルスタディー、日英合同執事会、コワイヤー練習、ゴスペルフラ

■礼拝によろこそいらっやいました。教会について、集会、信仰、キリスト教等について、ご質問がある方はお気軽に牧師までおたずねください。

■今日は宣教献金日です。これらは藤間ファミリー、マウントオリブ・ミニストリー、ノースカウティ教会、サウスベイ教会、ラスベガス教会、ツーソン教会、ブレント・キング師、ケブン・ウエスト師、吉田玲央兄、スー兄姉の働きのために捧げられます。

■今日から12月8日のクリスマス・プログラムに向けたクリスマスコワイヤーの練習が始まります。これから11月17日、24日、12月1日(いずれも12時から12時45分まで教会堂において)に練習がもたれます。希望者は石塚姉に直接、お申し出ください。

■昨年に引き続き、今年も教会ではオペレーション・クリスマス・チャイルドに参加し、シューボックスにクリスマスギフトを入れて子供達に送ります。希望者はスコット姉、アーリー姉まで。締め切り: 11月24日

■12月7日(土)、朝8時30分から正午まで **Elijah's Restaurant** にてウーマンズ・クリスマス・ブレイクファーストがもたれます。礼拝後に今月いっぱい受け付けます。詳細は町田姉まで。

■年末年始の予定

11月27日(水): サンクスギビングイブ礼拝

12月8日(日): 合同礼拝、クリスマスプログラム

12月20日(金): キャンドルライトサービス

12月22日(日): クリスマス礼拝

12月27日-1月1日: イクイパーカンファレンス

12月29日: うどん&そば

1月5日: 日英合同新年礼拝

1月11日: 新年聖会@ウエストコビナ教会

## 今週の予定

13日(水) 水曜集会 7:30pm-

14日(木) 木曜集会 10:30am-

15日(金) 会報発行日 10:30am-

16日(土) 羊の会 10:30am-

## 讃美歌



私達が賛美を歌う時、神様は賛美をもってその恵み深さと御心を私達に知らせてくださいます。

4、5世紀にキリスト教会では「イエス・キリストは神なのか」という大きな論争がありました。このところから父・子・聖霊の三位一体の教理が確立していきました。しかしながら、この教理は論理的に説明することが難しく、教会はこの教理をどのように伝えるべきか苦慮したといえます。

そこで教会が行きついたことは、この三位一体の教理を賛美歌にしたのです。賛美歌を通して会衆に三位一体を教えていったのです。ルターの宗教改革が驚くほどの勢いで広がったのはグーテンベルクの印刷機のおかげだとよく言われますが、それに加えて賛美歌の存在があったのです。

ルターは宗教改革の中心人物であると同時に「神はわがやぐら」や「深き悩みの淵より」などの讃美歌を作詞作曲した音楽家としても有名です。彼は賛美歌を当時の民謡の曲に乗せて歌わせたもしました。このことによりルターの宗教改革は上流階級だけでなく、一般民衆からも強力に支持されていったのです。

「若い男子、若い女子、老いた人と幼い者よ、彼らをして主のみ名をほめたたえさせよ。そのみ名は高く、たぐいなく、その栄光は地と天の上にあるからである」詩篇148:12、13